

A. 人

天文教育を実際に行う人材の養成がまず重要であることは言うまでもないだろう。連載第 1 回でも明らかにされているように、教育系大学（に限らないが）において専門的な訓練を受けて天文を教えている教官は、ごく僅かである。少数の専門的研究・教育機関で訓練を受けたものは、既に研究機関で就職しているスタッフも含め、積極的に外へ出て行くことを考えて欲しい。

B. 本

また天文教育に使用できるテキスト——天体物理学の立場で書かれた現代的なスタイルのテキスト——が皆無と言ってよい現状も憂うべきである。ウンゼルト「現代天文学」は難し過ぎるし、恒星社の現代天文学講座はシリーズなのでテキストには不向きである。従来の“テキスト”と呼ばれるものは完全に時代遅れで問題外だ。最近、た藤万里子さんの「100 億年を翔ける宇宙」が出版されて、やっと一条の光が見えた思いだが、今後も理科系向き、教育系向き、一般教養で使えるもの、学部で使えるもの、などなど多種多様な、現代的センスのテキストが切望される。またそれらは専門的な教育を受けていない人が容易に使えるものであることが望ましい。天文教育に携わる方々の奮起を促したい。

C. 物

近年のパソコンの教育界への浸透には目をみはるものがある。もちろん天文教育でも例外ではない。黒板に書いてはとも表せなかったようなことを、いともたやすく成し遂げるのだから、使い方によってはこれほど強力な武器もないだろう。この問題についてはまた別途に議論があってしかるべきだろうが、全国で蓄積されているであろうノウハウを交換できるような場が欲しいものだ。もちろん VTR やレーザーディスクなど他の視覚教材についても同じことが言える。

D. 層

現実の宇宙開発だけでなく、アニメやマンガを通して、今や宇宙は日常の延長という感じになってきた。ところでこれらのアニメ（良質の作品も多いのだが）で、まあ宇宙空間で音がするくらいは目を刺すほどでもないが、中には基本設定を余りにも誤っている酷いものもあり（古くは某ヤマトのように煙を吐きながら宇宙機が落ちて行くなどという）、そういうのがヒットするのだからたまらない。これはほんの一例で、要するに言いたいことは、学生に対してだけでなく、一般社会や子供たち次世代などあらゆる階層に対して、天文教育・啓蒙を多面的に行うことを忘れてはならないということである。

例えばその一つとして、現職の先生方が（専門の研修

センターだけでなく）大学においても、研修あるいは研究を、今以上により容易にできるようにするということが挙げられるだろう。

さらに一般社会への天文教育に関しては、地域社会（の天文教育機関）に対する大学等の天文研究者の役割というか責任も強調しておきたい。大阪の例を挙げれば、大阪府科学教育センターという施設では、主として現職の先生の研修を行っている。筆者たちも講師として行く機会がたまにあるのだが、現場の先生方を前に天文学の話をするところらが勉強になることも多い。天文教育の普及のためには、むしろこちらから協力させて頂くよう申し込むのが本筋なのだろうが、なかなかそこまではできないのが現状である。せめて依頼があった時だけでも、喜んで答えたいたいものだ。

またプラネタリウムのある大阪市立電気科学館（の天文室）では、一般社会に対する天文教育・啓蒙を「星の友の会」というサークルも作ったりして活動的に行っている。ここで講演をさせて貰う時はいつも、天文学について話すのはこんなにも難しいのか、と実感すると同時に、天文学は一般の人をこんなにも引き付ける部分を持っているのか、ということも認識する。天文教育・研究者の責任は重大である。

これら以外にも、研究上の協力や、情報交換、文献検索などでのいろいろな施設との交流は多い。筆者たちも一般社会で天文学界を支えている人たちと交流する機会に幸いにも恵まれ、本学での天文教育という主題からは少し外れるかも知れないが、敢えて述べさせて頂いた。

以上、筆足らずの部分など多々あると思いますが、読者の皆様のご教示、ご批判をお願いする次第です。なお担当されている講義の紹介を快く書いて下さった、大崎徹氏および小林英輔氏に感謝いたします。

学会だより

天文通俗講話 第一篇（明治 43 年）

上記標題の図書の寄贈をうけました。寄贈者は本会会員、佐久間精一氏です。この書は明治 43 年に本会編として発行されたものですが、現在では稀翻本に属し、その存在すら知る方は少ないようです。内容は明治 41、2 年頃に行なわれた本会主催の講演をまとめたもので、4 編がとり入れられております。なかで、平山清次氏によるハリー彗星に関するものは、前回の回帰と時を同じくするものですから多くの方々に歓迎されたものと思われま

す。今後は当会事務所に大切に保管し、ご希望によって閲覧に供したいと思っております。（庶務理事）